

**ウクライナ・チーム招聘事業
Olympic Dreams Project
in JAPAN
2023.9.17-10.8**



**2023年10月8日
全日本柔道連盟**

取材一覧

No.	取材日程		社名	媒体名	放送リンク
1	9月27日	静岡	読売新聞社	読売新聞	
2	9月30日	静岡	報知新聞	スポーツ報知	https://news.yahoo.co.jp/articles/9379f153500805f6193d31f6cac6e0ed68ce3cdc
3	9月27日・30日	静岡	静岡新聞社	静岡新聞	9/28朝刊、10/2朝刊
4	9月27日・30日	静岡	東海大学新聞	東海大学新聞	
5	9月27日	静岡	NHK静岡放送局	静岡放送局	https://www3.nhk.or.jp/lnews/shizuoka/20230927/3030021681.html
6	9月27日～30日	静岡	NHK	おはよう日本	2023年10月24日(火)NHK総合「おはよう日本」の午前7時台の特集枠(7～8分程度予定)
7	9月27日	静岡	テレビ朝日	テレビ朝日「ワイドスクランブル」	2023年9月29日(金)11時台の特集枠(11時5分～15分ごろ) https://vimeo.com/869464288/4da47965ca?ts=0&share=copy ※取り扱い注意
8	9月27日	静岡	東日本放送	ANNニュース	https://www.khb-tv.co.jp/news/15017159
9	9月27日	静岡	テレビ静岡	ただいまテレビ・テレビ静岡ニュース	https://www.sut-tv.com/news/indiv/23682/
10	9月27日	静岡	日本テレビ放送網	BS日テレ「深層NEWS」	2023年10月6日(金)19:00～21:00 BS日テレ「深層NEWS」※後日YouTubeに動画がアップ https://www.youtube.com/watch?v=Bdok9ghfE0E
11	10月4日	東京	共同通信社		https://news.yahoo.co.jp/articles/9daef63d58095cc460706bf0480e962c1ce9eeca
12	10月4日	東京	読売新聞	東京本社	
13	10月4日	東京	報知新聞社		https://news.yahoo.co.jp/articles/dcaefb9f8d5e8c1c79abb43dac5724d36e859083
14	10月4日	東京	NHK		2023年10月24日(火)NHK総合「おはよう日本」の午前7時台の特集枠(7～8分程度予定)
15	10月4日	東京	テレビ朝日		

報道記事

ウクライナの選手(右から2番目)に大内刈りを教えるペイカー柔道選手(静岡市清水区で)



柔道 ペイカー選手に学ぶ

東海大翔洋中でウクライナチーム

日本に滞在中のウクライナの柔道チームが30日、静岡市清水区の東海大静岡翔洋中で、2016年リオデジャネイロ五輪男子90kg級覇者のペイカー柔道選手(29)から指導を受けた。

指南を受けたのはウクライナ人の14、23歳の男女選手18人とコーチ2人。選手らはキーウやブチャなどに住んでいたが、ロシア軍の侵襲で満足に練習ができない状態だった。柔道を通じて国際理解や交流を目的に、全日本柔道連盟とNP

約1時間、ペイカー選手は得意技の大内刈りのコツを伝授。「相手に密着して」「手を引き込んで」などと通訳を介して助言した。選手たちは真剣な表情で話を聞いた。スマートフォンで動画を撮ったりして

ウクライナから来日 18選手 東海大静岡翔洋中・高で練習



柔道 技磨き再会願う

ウクライナの選手は同校の部員(約2時間、素形式のメニューを中心に汗を流した。部員は口頭指導のみ)。となない海外選手の柔道スタイルに「面白いな」と、シェスチャコフを交えて「ニコシエーション、合同練習を申し込んだ。同僚3年の小林桂菜さん(18)はウクライナの選手について「動きが素早く、一発一発にパワーがある。技をかきける」と賞賛している。「汗を拭いて」「将来は一緒に柔道がしたい」と笑顔で話した。

日本代表選手らにも「チャリテイオーションで集まった資金を元に日本柔道連盟が約3週間受け入れ事業の一環、ウクライナの選手たちの中には父親が戦場に行っている生徒もいる。長期間の日本の滞在は表裏チームでも経済的に難しいため、引退したコーチは選手たちにとって日本の柔道を見るのは夢、経験を身につけてほしい」と期待した。

(清水支局・大村花)

合同練習でウクライナの柔道選手と交流する部員(静岡市清水区の東海大静岡翔洋中・高)

柔道「金」の技学ぶ

ペイカー選手迎え 東海大翔洋中・高
ウクライナ選手も特訓

と希望している。予定は、同市緑地政策課によれば、本年度は解体工事と基本設計を実施。施設の解体は11月ごろ着手予定という。

(経済部・垣内健吾)



ウクライナ選手の質問に答えるペイカー選手(中央)
=静岡市清水区の東海大静岡翔洋中・高

静岡市清水区の東海大静岡翔洋中・高で9月30日、リオデジャネイロ五輪柔道男子90kg級金メダリストのペイカー柔道選手を講師に迎えた柔道教室が開かれた。中高柔道部員や、全日本柔道連盟の招待で9月24日から静岡に滞在している、「ウクライナオリンピック」の10代のウクライナ選手ら約100人が、世界を制した一流選手の技術を学んだ。

ペイカー選手は五輪決勝で勝負を決めた得意技の大内刈りを披露、解説した。技に入る前の力の抜き方や崩し方などを実演しながら丁寧に指導し、参加者はアドバイスを受けて繰り返し練習した。同高柔道部主将の城本憲生さん(2年)は「自分もペイカー選手と同じ軸足で追いかける大内刈りを使うので勉強になった」と笑顔で話した。

ペイカー選手は「熱心に質問してくれて、上達も早く驚いた」と授業を振り返った。さらにウクライナのコーチ陣が紹介した、戦場で破壊されたウクライナの道場の写真を見て「大変な中、競技にひたむきに頑張っている。今後試合に出る選手もいると聞くので教えた技で勝つ姿が見られれば」と願った。

報道記事

NHK静岡(9/27)

ウクライナ柔道チームが静岡市の中高一貫校を訪れ交流

09月27日 18時39分



日本に滞在中のウクライナ柔道チームが静岡市清水区の中高一貫校を訪れ、生徒たちと交流しました。

ウクライナでは、ロシアによる軍事侵攻で運動施設が破壊されるなどスポーツ環境が悪化しており、環境が整った日本で練習をしようと、中学生や高校生を中心とした柔道チームが来日し、9月25日から静岡県に滞在しています。

27日は、静岡市清水区の東海大学付属静岡翔洋高校で、交流イベントが開かれ、高校生と22人のウクライナの選手たちが、お互いにパフォーマンスを披露するなど親睦を深めました。

このうち、ウクライナの選手は、ウクライナの伝統的な踊り「ホパック」をアレンジしたダンスなどを披露しました。

この後、中学生も加わった柔道部との合同練習が行われ、ウクライナの選手と日本の生徒がペアになって技をつくる練習に励みました。

ウクライナの柔道チームのアナスタシア・チジェウスカさんは「生徒たちは、非常に優しく温かく迎えてくれました。練習は難しいけど、勉強になることがたくさんあります。日本で柔道の技術を学びたいです」と話していました。

高校3年生の小林佳奈さんは「全員が国を代表した感じでガツガツきて、自分たちも気持ちに応える練習をできたと思います」と話していました。

ウクライナの柔道チームは、9月30日まで静岡県に滞在し、柔道部との合同練習のほか県内各地を訪問するということです。

報知新聞(10/1)

ベイカー茉秋、ウクライナ選手に得意技・大内刈り伝授

10/1(日) 11:15 配信 1



ウクライナ柔道チームとクリニックの参加者が記念撮影を行った

リオ五輪金メダリストのベイカー茉秋(29)による柔道クリニックが30日、東海大静岡翔洋高の柔道場で行われた。日本に滞在中のウクライナ柔道チーム、同校の柔道部と一般生徒ら約100人が参加し、2時間の国際交流で汗を流した。

ベイカー自ら手本を見せながら、得意技の「大内刈り」を伝授し、上達した参加者には「ベリーグッド」と拍手を送った。28年ロス五輪を目標に掲げるハルチェンコ・ニキータさん(15)は「教えてくれた技を、数年かけて自分のものにしたい」と目を輝かせた。

東海大時代、ベイカーの3つ上の先輩でもある平井亮輔監督(31)は「柔道は戦うだけじゃない。人を助ける絆がある」。ロシアによる侵攻により母国での練習が困難になっているウクライナの選手たち。日本代表選手らによるチャリティーオークションで集まった資金などを元に、全日本柔道連盟が約3週間行う受け入れ事業の一環で、今回のイベントが実現した。

ベイカーは「(ウクライナは)今は大変だと思いますが、きょう教えた大内刈りなどを練習して、試合で活躍して下さい」と未来のオリンピックたちにエールを送った。(森智宏)

報道記事

共同通信(10/4)

柔道のウクライナ選手と合同練習 全柔連、リオ五輪銀の原沢ら

10/4(水) 21:57 配信 0



柔道の2016年リオデジャネイロ五輪男子100キロ超級銀メダルの原沢久喜ら全日本柔道連盟（全柔連）のアスリート委員会が4日、東京の講道館でウクライナのジュニア選手と合同練習会を開いた。総本山の道場での稽古に女子70キロ級の16歳、アンナ・コルニーコは「素晴らしい経験。柔道が私の心を強くしてくれる」と笑顔で話した。

ウクライナから15～19歳の18選手が参加。リオ五輪男子100キロ級3位の羽賀龍之介や女子52キロ級で五輪銅メダル2度の中村美里らから助言を受け、積極的に乱取りにも励んだ。羽賀は「目の色を変えて稽古をしていた。喜んでるのが、組んで感じられた。いい時間だった」と話した。

テレビ静岡(9/28)

ウクライナ柔道チームが高校生と交流 軍事侵攻で環境悪化 練習場所求めて来日 静岡市

2023年09月28日(木) 地域 暮らし・生活



日本に滞在中のウクライナの柔道チームが静岡市清水区の高校を訪れ、生徒たちと交流を楽しみました。

静岡市清水区の東海大静岡翔洋高校を訪れたのは、ウクライナの中高生を中心にした柔道チームの22人です。

27日は3年生の生徒たちとの交流会が開かれ、チアダンス部がパフォーマンスを披露したり、一緒にゲームをしたりして互いに笑顔を見せていました。

ウクライナではロシアの軍事侵攻によりスポーツをする環境が悪化し、チームは設備が整った場所で練習をするために来日しており、10月7日まで中高生との交流や合同練習などをしていくということです。

報知新聞(10/5)

柔道・原沢久喜、羽賀龍之介らがウクライナのジュニア選手と合同練習「すごくいい時間だった」

10/5(木) 8:00 配信 1



ウクライナのジュニア選手（中央）と記念撮影に応じる羽賀龍之介（左）、原沢久喜（カメラ・林直史）

全日本柔道連盟（全柔連）のアスリート委員会が4日、東京・文京区の講道館でウクライナのジュニア選手との合同練習会を開いた。

アスリート委員会からは16年リオ五輪男子100キロ級銀メダルの原沢久喜（長府工産）、同100キロ級銅メダルの羽賀龍之介（旭化成）、女子52キロ級で五輪銅メダル2度の中村美里、同70キロ級で21年世界選手権2位の大野陽子さんが参加。ウクライナから受け入れている15～19歳の男女18選手に助言を送り、実際に組み合うなど約2時間半交流。羽賀は「ウクライナの選手たちが喜んでるのを組んで感じられた。すごくいい時間だった」と振り返った。

全柔連ではロシアによる侵攻が続き、自国で十分な練習機会が確保できないウクライナの選手を支援するため、阿部一二三、阿部詩（ともにパーク24）、ダリア・ピロディド（ウクライナ）ら約20人の著名柔道家が協力。直筆サイン入りの柔道着などを出品し、8～9月に慈善オークションを実施。500万円近い収益を資金に充て、9月18日から約3週間、ウクライナの選手団を日本に招待している。

柔道総本山・講道館で汗を流した女子70キロ級の16歳のアンナ・コルニーコは「子供の頃からここに来るのが夢だった」と感無量の表情で語った。男子66キロ級の19歳のスターズ・ラドスキーも「オリンピック選手と一緒に練習することができ、うれしい気持ちでいっぱい。素晴らしい経験になった」と笑顔で稽古を終えた。